YCだより
YC(読売新聞販売店)より耳寄りな情報をお届けします。
県内のスポーツ情報も随時掲載致します。

糖度五十度以上。極蜜熟成仕上げ。
SAZANKA

日本のひなた　宮崎県からお届け

ひなたの恵みを活用し、13度以下にならないよう独自の熟成技術で３か月以上熟成させたあと、自社工場でじっくりと焼き上げ、美味しさそのままに、ぎゅっと瞬間冷凍しました。

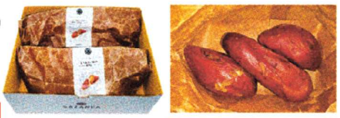
食物繊維たっぷり！低糖質スイーツ！
冷凍やきいもの楽しみ方
【加熱時間目安】
冷凍やきいも約200g(1本)：
500W 約3分／600W 約2分30秒
※加熱時間はお芋の大きさにより異なりますので、様子を見ながら温めてください。
★カンタン調理★ 電子レンジでチンするだけ！

シャーベットやきいも
半解凍の状態でシャーベットやきいもとして食べてもGood!!

冷やしやきいも
冷蔵庫で2日間熟成して食べるしっとりした冷やしやきいもは絶品!!

ほかほかやきいも
電子レンジやオーブンで温めたやきいもは、芋蜜たっぷりで究極の美味しさ!!

宮崎県産（冷凍）熟成やきいも



●原材料名：さつまいも(宮崎県産)
●保存方法：冷凍保存
●賞味期限：冷凍12か月
※一度解凍した焼き芋は、お早目にお召し上がりください。
冷凍便
配送不可エリア：北海道・沖縄・離島
※写真は500gです。個体差により本数は異なります。

申込番号 981038　●内容量：1kg（500g×2袋）●本数の目安：5〜7本
1kg 4,700円 税込

申込番号 981039　●内容量：2kg（1kg×2袋）●本数の目安：10〜14本
お得!! 2kg 7,200円 税込

読売通販 ねせぱ
株式会社 読売情報開発 YCサポート部
〒102-8618 東京都千代田区平河町2-13-3
商品のお申し込みは通話料無料のフリーダイヤルで
0120-860-432
AM9:00〜PM8:00（土・日・祝日もお受けします）
※ご注文の際は企画番号・商品番号をオペレーターにお申し付けください。
表示価格は 送料・代引手数料込！
冷凍便 お客様直送
支払方法 商品お届けの際に代金と引き換え（手数料無料）
企画番号 5717
受付締切 2023年 3/23(木)
商品配送 2023年 4月中旬より順次
お客様のご都合による返品・交換はご容赦ください。但し、商品の汚損・破損などについては、商品到着後、直ちにご連絡ください。返送料当社負担で新しい商品とお取り替えいたします。●返品・交換は商品到着から8日以内にご連絡ください。●ご注文をいただいた方（以下「お客様」）のお名前、ご住所、電話番号、申込内容等の個人情報は、株式会社読売情報開発（以下「当社」）とお客様の地域を担当する読売センター（YC）が共同で利用し、商品のお届けのほか、お客様からのご連絡やお問い合わせへの対応、販売促進キャンペーンのご案内の送付、配達・集金業務の遂行、各種サービス・イベントのお知らせ、ご購読の勧め、ご購読の延長、新聞以外の取扱商品のご案内、YC及び読売グループが協力・提携する企業の商品・サービスのご案内、宅配業務に利用させていただく場合があります。なお、お客様の個人情報は、当社とYCが責任をもって管理します。個人情報の取り扱い、読売グループでの共同利用については、https://info.yomiuri.co.jp/privacypolicy/kyoudouriyou.htmlをご確認ください。

重圧かかった第5試合を二木・遠藤組が快勝

わかくさ大接戦制す

男女混成団体戦

第9回スポーツ少年団小学生ソフトテニス交流大会

抜群のチームワークも見せて優勝したわかくさ

第9回スポーツ少年団小学生ソフトテニス交流大会が2月19日、くまがやドームで行われた。男女混成の団体戦で、決勝ではわかくさ（川口市）が3―2で坂戸ジュニアを下して優勝した。2―2と接戦となったが、第5試合で二木都々凛・遠藤夢奈組（ともに6年）が3―0で勝利し、チームに優勝を呼び込んだ

気迫のプレーで

最後は一気に決めた。2―2で託された最後の第5試合。2―0で迎えた第3ゲームも、二木・遠藤組が気迫のプレーでリードを広げた。3―0からのマッチポイントで、遠藤のスマッシュを相手がネットにかけて、わかくさの優勝が決まった。

仲間と喜びを分かち合った遠藤は「うちらの出番はないと思っていたので焦った。でもプレーは自信を持ってできた」と、肩をなでおろした。五十畑咲和主将（6年）も「みんなで楽しく笑顔でできた」とうれしそう。篠澤明史監督（45）は「6年生はこれでほぼ引退。笑って終わろうと話したことができた」と、笑顔でメンバーを迎え入れた。

練習量の豊富さが勝ち上がった要因だ。川口市内に「ジュニアでは全国でも珍しい」（篠澤監督）というクラブ専用のコートを持つ。チーム練習は週末だけだが、いつでも練習できる環境が「平日に自主練習をやって、今日もそれが生きた」（二木）と選手の意識を高め、成長を後押し。この日は全国3位でU―14日本代表候補の桐山柊介（6年）を代表合宿で欠きながら、頂点に立ってみせた。

OBと練習重ね

日頃から全国の舞台で活躍するOBなどが訪れ、後輩たちの練習を手伝っているのも強さの秘密。5年生ペアながらこの日は全勝で勝利に貢献した福田碧大・畑田亨祐組は「いつも（年上の）速い球を打っているので緊張しなかった」（畑田）、「先輩のためにも頑張ろうと思った、来年も絶対に優勝する」（福田）と、先輩たちの前で元気よく宣言した。

遠藤「うちらの出番はないと思っていたので焦った」

重圧のかかった決勝戦で快勝し優勝に貢献した二木㊧・遠藤組

▽決勝
わかくさ 3―2 坂戸ジュニア
○福田碧大・畑田亨祐 3―0 清水悠太・木下颯大
井上泰成・夏林蓮 2―3 木幡悠・山岸紗菜○
川嶋梓・在原梅花 1―3 手塚咲希・米沢心音○
○篠澤美海・五十畑咲和 3―0 酒井健太朗・髙橋晴真
○二木都々凛・遠藤夢々奈 3―0 冨沢英太・弘松えみい

読者の声

蓮田市　Y・Mさん（男性）「いつもさいたま報知を楽しみにしています。孫が少年野球をやっていますので、野球の記事に目を向けてしまいます。みんながんばっている姿がよくわかります」

上尾市　S・Nさん（女性）「上尾瓦葺中陸上部の記事が良かったです。近所の頑張っている子供たちが載っていてうれしかったです」

新座市　A・Mさん（女性）「クラブ特集が毎回楽しみです。元気に活動している様子がわかりやすく、とてもいいと感じます」

行田市　H・Hさん（男性）「埼玉の子供たちがスポーツを通じて成長し、活躍できるようがんばってほしいです」

行田市　E・Mさん（男性）「一面の野球の個人記録が大きくて見やすいのでうれしい。毎月楽しみにしています」